

カーボンリサイクル関係の国際会議の広島開催について

1 要旨

令和5年度の「カーボンリサイクル産学官国際会議」の広島開催をはじめ、これまでの本県のカーボンリサイクルへの取組が評価され、国際エネルギー機関の技術協力プログラムの一環として、カーボンリサイクルなどCO₂削減をテーマとした国際会議が本県で開催されることとなった。

2 国際会議の概要

(1) 会議名

Workshop on Carbon Management (カーボンマネジメントワークショップ)

(2) 実施主体

ICSC・IEAGHG 共催※

※ ICSC (International Centre for Sustainable Carbon) 及び IEAGHG (IEA Greenhouse Gas R&D) の両団体とも、IEA (国際エネルギー機関) の加盟国で情報交換や共同研究開発などの活動を行う技術協力プログラム。

(3) 開催日

3月12日(水)～14日(金)

(4) 開催場所

ヒルトン広島 (12・13日)

大崎上島カーボンリサイクル実証研究拠点 (14日)

(5) プログラム

①政府関係キーノートスピーチ (湯崎知事ビデオメッセージ予定)

②パネルセッション

・カーボンマネジメントの政策と世界の動向 (本県取組発表予定)

・国際的・地域的なCO₂のバリューチェーン

・ゼロ・エミッションとカーボンリサイクル

③ワークショップディナー (本県共催)

④大崎上島カーボンリサイクル実証研究拠点視察

※メイン会場内で、カーボンリサイクル関係企業によるポスター展示あり

(6) 参加者

各国政府・研究開発機関の関係者、企業関係者等 120名程度

<https://www.sustainable-carbon.org/workshop/hiroshima-carbon-management-workshop/>

3 県としての対応

世界のカーボンリサイクル関係者が広島に集う国際会議を絶好のPR機会と捉え、産学官連携組織である「広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進協議会 (通称: CHANCE)」を中心とした本県の取組を発信し、カーボンリサイクル先進地としての認知度の向上を図る。

4 予算額(単県)

「環境・エネルギー産業集積促進事業」のうちカーボンリサイクル技術の推進関係
1,900千円

5 事業目標

参加者 120名